

# WINDOW REGULATOR CONTROLER WRC-01N

この度は弊社製品ウインドレギュレーターコントローラー(WRC)をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。  
取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合は当社ホームページ上の取り扱い説明書をダウンロードして取り付けをおこなって下さい。

## ⚠ 警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

本製品は助手席側ドアウインドを自動で開閉させます。ドアウインド開閉時に指や手を挟まないよう十分にご注意ください。  
ジムニーの助手席側には挟み込み防止機能がありません。挟まれると事故やケガの原因となる恐れがあります。  
助手席に同乗者が乗車している場合は、窓の自動開閉に十分ご注意ください。特にお子様が乗車する場合は、ドア開閉前に安全を確認するか本製品の機能をOFFにしてください。

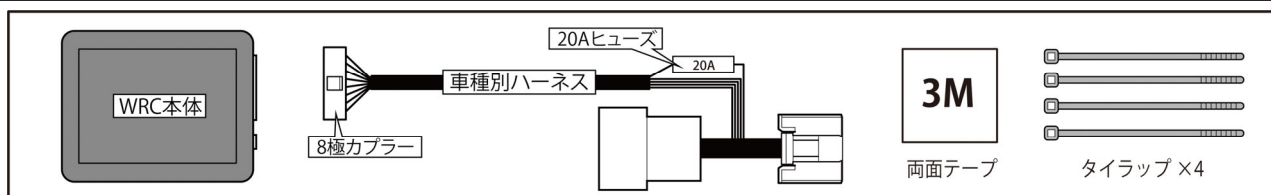
## ⚠ 注意 または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、安全な場所でおこない専用設備をもった専門の業者に必ず依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスは水のかからない場所、アクセルやブレーキ等の操作に支障がない場所に設置してください。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

## ●本製品の特徴

本製品を取り付けることによりジムニー特有の気密が高くドアが閉まりづらい不便さを改善することができます。  
運転席(助手席)のドアを開けると助手席の窓が自動で下がることにより、ドアを閉める際に開いた窓から空気が抜けることで気密が下がり、少ない力でドアを閉めることができます。ドアを閉めたあとに窓は自動で閉まります。

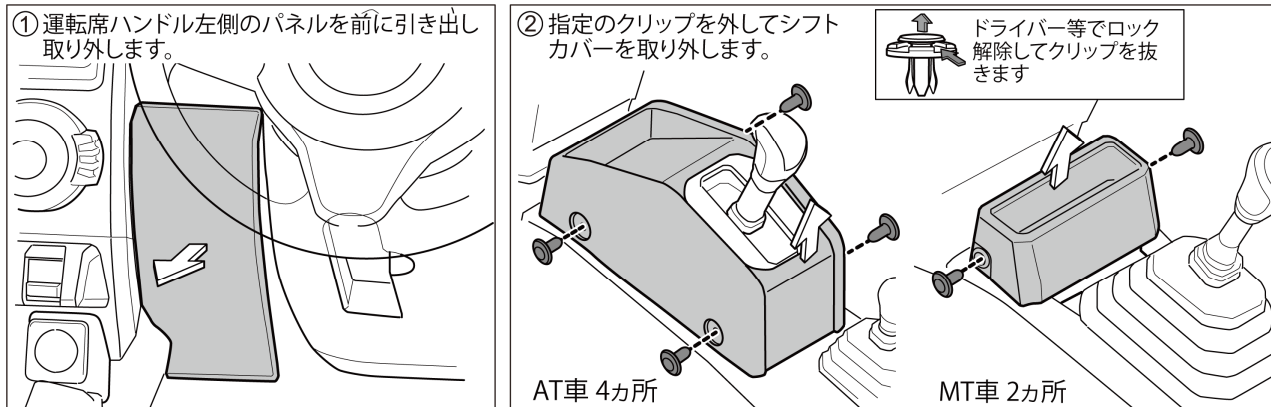
## ●内容物



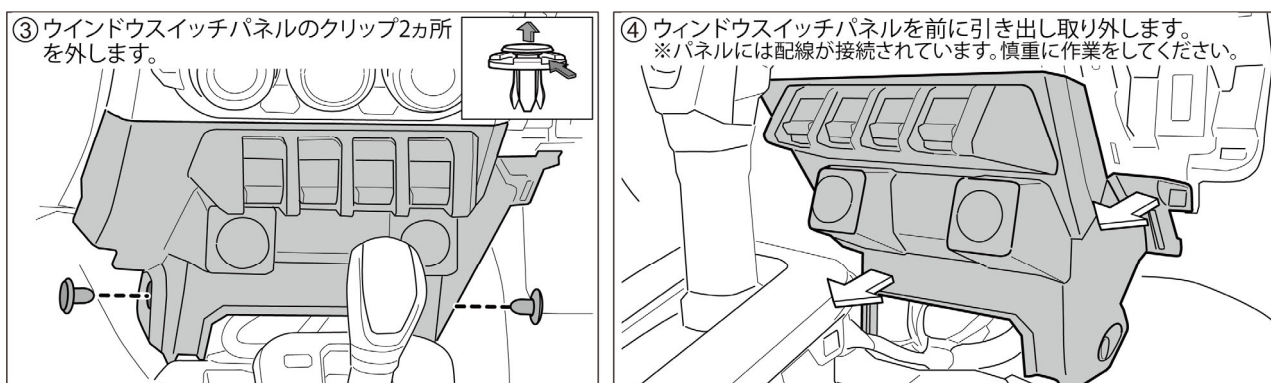
## ●取付方法

- ⚠ 注意**
- エンジンを停止させ、エンジンキーを抜いてから5分以上たってから作業をおこなって下さい。
  - 接続する配線内に常時12Vが含まれます。エンジン停止状態でも通電しているため注意して作業をおこなって下さい。
  - バッテリーを取り外して作業をするとアイドリング学習、他設定がリセットされます。
  - カプラーを抜く際はロック部を押しながらカプラーの樹脂部を引っ張って抜いてください。

### 内装の取外方法



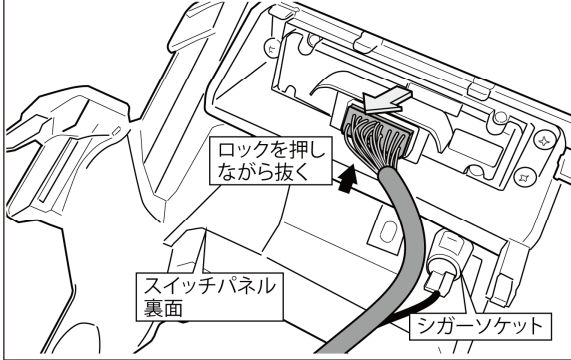
- 1 運転席ハンドル左のパネルを前に引き出して外します。
- 2 シフトカバー(AT車)、小物入れ(MT車)のクリップを外して取り外します。(AT車4カ所、MT車2カ所)。



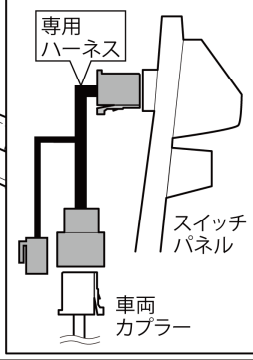
- 3 ウィンドウスイッチパネル左右のクリップを取り外します。
  - 4 ウィンドウスイッチパネルを前に引き出して外します。
- ※ パネルには配線が接続されています。慎重に作業をしてください。

## 配線接続方法

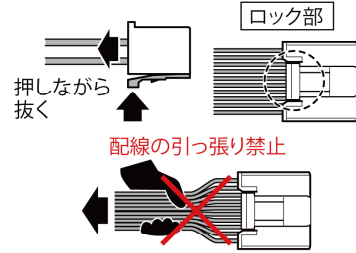
- ⑤ ウィンドスイッチパネル裏のカプラー(18極)を抜いて製品車種別ハーネスを割り込ませます。



製品の車種別ハーネスを間に割り込ませます



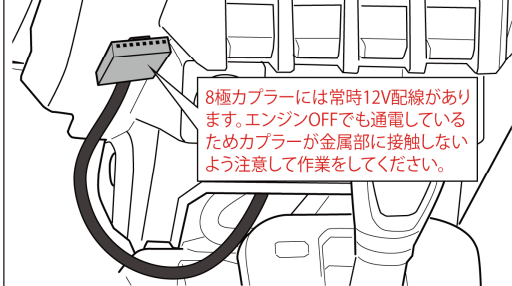
### ⚠ 取付け作業の注意



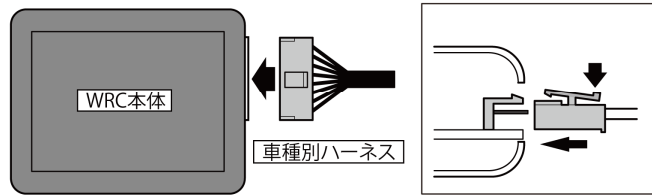
カプラーを抜く際はロック部を押しながらカプラー樹脂部を引っ張って抜いてください。配線部分を無理に引っ張ると断線する可能性があります。注意して作業してください。

- 5 ウィンドスイッチパネル裏のカプラー(18極)を抜いて車種別ハーネスを割り込ませます。  
 ※ カプラーを抜く際はロック部を押しながらカプラーの樹脂部を引っ張って抜いてください。

- ⑥ スwitchパネルの隙間から車種別ハーネスの8極カプラーを引き出します。



- ⑦ WRC本体に車種別ハーネスの8極カプラーを接続します。  
 ⑧ 下記「使用方法」を参照してWRCの電源スイッチをONにしてください。  
 ⑨ 動作確認後、WRC本体、ハーネスを運転の支障のない場所に固定し、取り外したパネルをすべて元に戻して下さい。

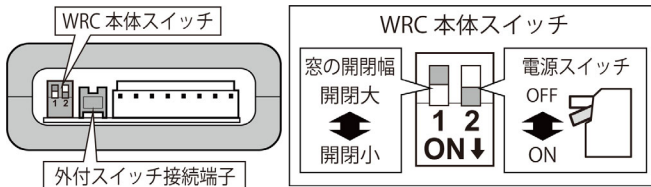


- 6 スwitchパネルの隙間から車種別ハーネスの8極カプラーを引き出します。  
 7 WRC本体に車種別ハーネスの8極カプラーを接続します。  
 8 下記「使用方法」を確認してWRC本体の電源スイッチをONにしてください。  
 9 動作確認後、WRC本体、ハーネスを固定し、取り外したパネルをすべて元に戻してください。

## ●使用方法

### 作動方法

※配線をすべて接続した後に電源スイッチをONにしてください。



#### 【1番スイッチ】開閉幅設定スイッチ

窓の開閉幅を設定します。上で開閉幅が大(約3~4cm) 下で開閉幅が小(約1cm~2cm)。

※バッテリーの状態により開閉幅は変化します。

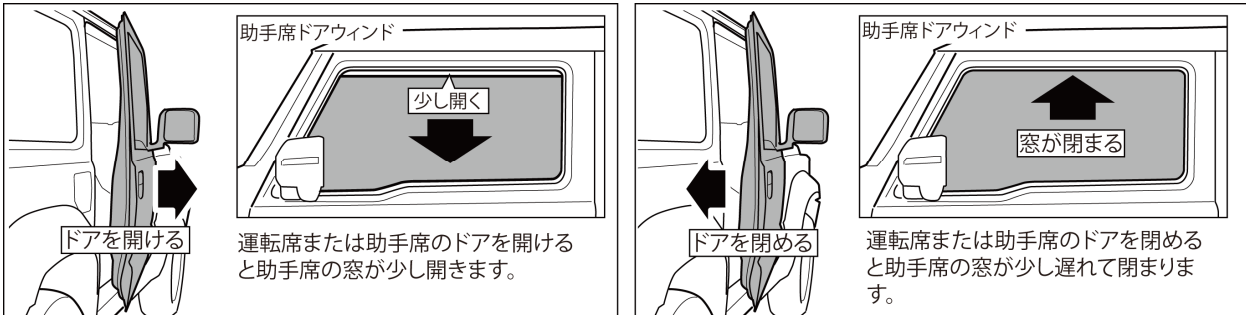
#### 【2番スイッチ】電源スイッチ

スイッチを下げると電源がONになります。

※すべての配線を接続後に電源をONにしてください。

### 作動内容

- 運転席または助手席のドアを開けると助手席の窓が下がります。そしてドアを閉めるときに開いた窓から空気が抜けることで気密が下がり、少ない力でドアを閉めることができます。
- 取り付け後、電源をOFFからONにした直後は窓の下がり幅が小さくなります。1、2回作動させると通常の開閉幅になります。



※ ジムニーの助手席側には挟み込み防止機能がありません。挟まれると事故やケガの原因となる恐れがあります。助手席に同乗者が乗車している場合は、窓の自動開閉に十分ご注意ください。特にお子様が乗車する場合は、ドア開閉前に安全を確認するか本製品の機能をOFFにしてください。



- ※ 「運転席」と「助手席」のドアが両方とも完全に閉まった場合に窓が閉まります。どちらかのドアが開いている(半ドアも含む)状態では作動しません。
- ※ 後部ハッチの開閉では作動しません。(ノマドの場合は後席ドアも作動しません。)
- ※ エンジン停止中はバッテリーでウインドモーターを動かすため、頻繁にドアを開閉するとバッテリーの減りが早くなります。
- ※ 車を長期間使用しない場合は必ずWRC本体の電源をOFFにしてください。バッテリー残量が残わずかの状態でドアを開けた際にウインドモーターが動作することでバッテリーが完全に上がり、エンジン始動ができなくなる恐れがあります。
- ※ 窓の開閉動作が終了する前に連続してドアの開閉を繰り返すとウインドモーターに負担がかかり故障の原因になります。

## ●純正オートウインド機能(運転席)の再設定 ※取り付け後に必ず行って下さい。

- ウインドスイッチパネルのカプラーを抜くと運転席側オートウインド機能(ボタン押込みで全開、全閉機能)がリセットされます。取り付け後に下記の指示に従って再設定をして下さい。(助手席側にはオートウインド機能はありません。)
- 1 エンジンを始動させます。
  - 2 運転席側ウインドスイッチを下げて全開にします。
  - 3 全開後、ウインドスイッチを上げて全閉にします。
  - 4 全閉後にスイッチを離さずに2秒以上、スイッチを押し続けます。
  - 5 設定後にオートウインドが作動するか確認をしてください。

## ●トラブルチェック



走行中などでエンジンチェックランプが点灯しエマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は、車両を安全な場所へ移動し一旦停車させ、エンジンを停止してしばらくしてからノーマル状態にして再始動させて下さい。



ノーマルに戻す場合は車種別ハーネスを車体から取り外して下さい。WRC本体だけを取り外すと断線状態になり、窓の開閉ができなくなります。

### 【ドアを開閉しても窓が動かない】

- 各配線が適切に接続されているか、カプラーが奥まで刺さっているか確認して下さい。
- WRC本体の2番スイッチがON(レバー下側)になっているか確認して下さい。  
別売のスイッチを使用している場合は別売のスイッチもONになっているか確認して下さい。
- 車種別ハーネスにはヒューズがあります。ヒューズが切れていないか確認して下さい。
- 取り付け作業時に車両側のヒューズが切れていないか確認して下さい。
- バックドア、またはジムニーノマド(JC74W)の後部座席ドアには連動しません。

### 【車両のウインドスイッチを押しても窓が開かない】

- 各配線が適切に接続されているか、カプラーが奥まで刺さっているか確認して下さい。
- WRC本体と車種別ハーネスを接続しないと車両ウインドスイッチ回路が断線した状態になります。  
純正に戻す場合は車種別ハーネスも車体から外して下さい。

### 【窓が開く幅が少ない】

- 本製品取り付け後、本体スイッチでON/OFFした直後は窓の開閉幅が少なくなります。
- WRC本体の1番スイッチの位置を確認して下さい。(上が開閉の幅大、下が開閉の幅小)
- エンジン停止中はバッテリーでウインドを開閉させています。バッテリーが弱って電圧が下がると窓の開閉幅にも影響がでます。エンジンを始動して充電、またはバッテリーの交換をお願いします。

### 【運転席側オートウインド機能が作動しない】

- ウインドドアパネルからカプラーを抜くとオートウインド機能はリセットされます。
- 本書「オートウインド機能の再設定」を参照して再設定をして下さい。

### 【点灯したチェックランプを消す方法】

- カプラーなどを取り外した後、接続完了前にエンジンをかけると車両が断線を検知してチェックランプが点灯する可能性があります。  
その場合は配線を元に戻してエンジンを切って完全に電源が落ちるまで数分待ってからエンジンを始動を数回繰り返して下さい。
- 何度やってもエンジンチェックが消灯しない時はカーディーラー等の専用機器のある工場にてエラー消去して下さい。